

# 事業報告

## 平成29年度 教育事業

### 信州高遠自然みつげ隊～晩冬編～

平成30年2月24日(土)～25日(日)

【対象】家族・グループ

【場所】国立信州高遠青少年自然の家

#### ～趣旨～

国立信州高遠青少年自然の家において、森・川・星空・動物といった豊かな自然環境と自然観察指導員・望遠鏡・プラネタリウムといった充実した環境・設備を生かし、子供達に豊かな自然体験を経験させ科学的な好奇心を育ませる。また他の家族との共同宿泊生活を通して、交流や生活習慣の確立を目指す。

#### ～主催～

独立行政法人国立青少年教育振興機構 国立信州高遠青少年自然の家

#### ～活動日程～

時		13	14	15	16	17	18	19	20	21	22
2月24日(土)	13:00～13:30 13:30～	受付・開会式	アイスブレイク	そり遊び	ト作り 鹿の角のペンダント	クラフト活動 タベのつごい	夕食	休憩	星座観察	入浴	就寝
2月25日(日)	起床	朝のつごい	朝食	荷物整理	トラッキング	アニマル	(おやつ作り)	冬ごもりおやつ	を楽しもう!	閉会式・解散	
						12:00～12:30 12:30～	閉会式 解散				

#### ～参加者～

6家族(大人:10名、小学生:7名、幼児:1名) 計:18名

(長野県、愛知県、東京都)

#### ～活動トピックス～

##### 活動Ⅰ そり遊び・鹿の角のペンダント作り

講師:信州高遠青少年自然の家 職員

自然の家のそりコース100mと120mを使用し、みんなでたっぷり滑って楽しんだ後、鹿の角のペンダント作りを行った。1年かけて集めた鹿の角から、自分たちでのこぎりを使い先端を切り取ったり、輪切りにしたりして、世界でたった一つのペンダントを作成した。自分で作ることに喜びに加え、自然・動物を身近に感じることができた活動となった。





## 活動Ⅱ 星座観察

講師：信州高遠青少年自然の家 星空観察指導員  
300mmや128mmの天体望遠鏡を使ってオリオン大星雲(M42)や月を見たり、プラネタリウムで冬の星座や宇宙についての説明を聞いたりした。

## 活動Ⅲ アニマルトラッキング

講師：信州高遠青少年自然の家 自然観察指導員  
自然観察指導員の方と一緒に雪の森の中を進み、動物たちの痕跡をたくさん発見した。うさぎや鹿、イタチ、タヌキの足跡や糞、食痕などを観察することができた。



## 活動Ⅳ おやつ作り

### 「冬ごもりおやつを楽しもう！！」

講師：信州高遠青少年自然の家 職員 ボランティア  
アイスクリームと長野県が全国第2位の生産量を誇る地場フルーツのリンゴを使った「焼きリンゴ」を作った。リンゴをダッチオーブンにセットして焼いている間にアイスクリーム作りに挑戦！ペットボトルに材料を入れ、雪を詰めたビニール袋で包んで、ボール状にしたら、外へ出て雪の上でキックしたり、坂で転がしたりして遊びながらアイスクリームを作り食べた。焼きリンゴは串で刺すとスーッとはいくら柔らかくなり、参加者からは「遊びと食が融合した楽しいおやつ作りで、素晴らしい。」などの声が聞かれた。



### ～参加者の声～

- なかなか冬の山の中を歩く機会がないので、アニマルトラッキングで歩くことができて良かった。
- 鹿の角に触れたり、クラフト活動でペンダントが作れたりして、家に帰ってからもズーッと良い思い出になるので良かった。
- 星空観察や自然観察の指導員の先生方のお話で、子供より大人の方が興味津々になった。
- 鹿の角のペンダント作りでは、獣臭くなったのも含めて大変楽しかった。
- 焼きリンゴとアイスクリームの相性も良く、おいしかった

### ～成果と課題～

- 冬の自然の家での活動のそり遊びや鹿の角を使ったクラフト活動、大口径の望遠鏡を使った星空観察、自然観察指導員による動物の痕跡や糞についての話、ダッチオーブンや遊びを取り入れたおやつ作りなど普段の家庭生活ではできない非日常の体験を提供することができた。
- 他の参加者との交流もねらいとしていたが、「他県の友達ができた。」という感想が聞かれたり、大人同士でも親しく話をしたりしている場面を見ることができたりして、今回の事業のねらいが達成できたといえる。
- 事業の直近になってからのキャンセルが多くあった。キャンセルを考え定員よりも多く受付ていたが、2月という時期を考えるとインフルエンザ等も考慮して、直近での追加募集をするなど臨機応変に対応する必要があると考える。